

社協だより

No.113

令和4(2022)年 12月9日発行

発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人

三次市社会福祉協議会

〒728-0013 三次市十日市東三丁目14番1号
三次市福祉保健センター内

☎ (0824)63-8975(代表)

☎ (0824)63-3340(地域福祉課)

FAX (0824)62-6827

E-mail:mycity@cc.wakwak.com

https://www.miyoshi-shakyo.com/



あのまちこのひと

みいつけた!

主な内容

- 2P... 障害関連事業特集
- 3P... 活動報告
- 5P... 家族介護者交流のつどい ほか
- 6P... まごころ
- 7P... 令和4年度社協会費お礼と報告 ほか
- 8P... お知らせ情報コーナー

その地域ではちょっと知りた人物や活動、みなさんの地域で見つけた素敵な日常のひとコマを紹介します。

今回は十日市の きんさいカフェグラウンドゴルフ同好会 をパシャリ📷。地域の茶話会をきっかけに発足したグループは、その楽し気な雰囲気から、経験の有無に関係なく、参加者の輪が広がっています。(紹介記事は7P)



ひとりひとりが自分らしく 安心して暮らせる町にするために

三次市社会福祉協議会では、障害のある方の日常生活や社会参加を支援するサービスや支え手を養成する事業を行っています。

当事者の方と関わりながら“地域共生社会”を目指しています。



障害児生活訓練事業

学校が長期休暇中の間、在宅の障害児等に対し、ボランティアの協力も得ながら日常生活上で必要な訓練や療育指導を行い障害児等の生活の安定と保護者の就労支援を図ります。



手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚障害者等のコミュニケーションの円滑化の推進のため、手話通訳者・要約筆記奉仕員の派遣調整を行います。



〈派遣できる用務〉

- ・病院や診療所などを受診するとき
- ・市役所など官公庁の手続きをするとき
- ・学校や教育関係の用事があるとき
- ・日常生活で必要なとき(買い物など)
- ・その他特に必要と認められる用務

点字・声の広報等発行事業

市内に居住する視覚障害者等で希望される方へ、ボランティアグループの協力により、テープ等に録音した「広報みよし」「議会だより」「社協だより」や点訳の「図書館だより」などを郵送します。



手話・要約筆記・点訳・朗読ボランティア養成事業

各種養成講座を開催しています。受講修了後、ボランティアとして活動されている方もたくさんいらっしゃいます。(それぞれ講座の開催時期や回数は異なります)



◆手話奉仕員養成講座◆
年1回開催(全35回)



◆要約筆記奉仕員養成講座◆
年1～2回開催
(内容によって回数が変わります)



◆点訳ボランティア養成講座◆
年1回開催(全10回)



◆朗読ボランティア養成講座◆
年1回開催(全5回)

“障害”への理解に関する啓発授業

三次市身体障害者協会と三次市社協が、一緒に市内の小・中学校に出向いて、地域で暮らす障害者の生活や課題、取り組み等について関心を深めてもらえるよう、積極的に当事者発信の授業を行っています。

人との出会いや関わる機会をつくることで、地域共生社会に向けた取り組みをすすめています。



家族介護者交流のつどいを開催しました

～自分のための時間をつくって気分転換♪～

10月13日(木)奥田元宋・小由女美術館で、在宅で介護をされているご家族を対象に交流のつどいを開催しました。動くゴッホ展を鑑賞後、美術館内のお茶室で交流会を行いました。参加者から「美術館内をゆっくり見ることができた」「介護者同士で話ができよかった。話すことでリフレッシュになった」という声が聞かれ、気分転換をしていただけたようでした。今後も介護者の方のリフレッシュや交流の場となるよう開催したいと思います。

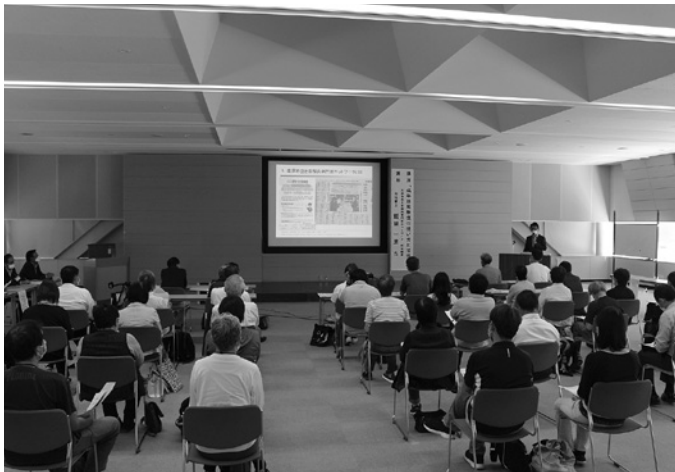


災害ボランティアセンター研修会を開催しました



10月25日(火)に三次市被災者生活サポートボラネット推進会議の運営団体に参加いただき、災害ボランティアセンター設置運営研修会を開催しました。災害時に災害ボランティアセンターがどのような活動をするのかボランティアの受付や活動紹介などの対応方法の説明をしました。参加された方からは質問も出て活動について改めて確認することができました。今後も関係機関や団体と協力しながら災害に備えていきたいと思っています。

成年後見制度講演会を開催しました



10月1日(土)に成年後見制度の利用促進や市民後見人への理解を目的に成年後見制度講演会を開催しました。講師に飯田一生司法書士を招いて、「成年後見制度の使い方と活用例」と題してお話をさせていただきました。講演会には多くの方が参加され、成年後見制度への関心の高まりを感じました。飯田司法書士からは事例を通して具体的な説明があり、成年後見制度に対する理解が深まった講演会になりました。

布野町敬老会が3年ぶりに開催されました



布野町地区社協は敬老会で米寿をはじめ長寿のお祝いや金婚を迎えられるご夫婦のお祝いを行っています。近年コロナ禍で中止されていましたが役員さん達の協議の結果、3年ぶりに形式を変え感染予防対策を行い、9月17日に開催されました。参加人数は以前に比べ三分の一でしたが「久しぶりに顔を見て嬉しかった」「同窓会のように楽しかった」と言われていました。人が交流することには元気の素が詰まっています。



三和町の町内サロンで百歳を祝福されました

三和町の“よりそい教室”に参加されている上野正行さんは11月に百歳を迎えられ、参加者より花束贈呈や記念撮影などのお祝いセレモニーが行われました。上野さんの長寿の秘訣は「規則正しい生活と、日々感謝し鍛錬すること」だそ



うで、厳しい戦争の時代を過ごし、今の健康な自分があると話されました。これからもお体に気をつけてお過ごしください。おめでとうございます！



凛々しく、華やかに、社交ダンス in 吉舎



11月6日(日)に「2022 チャリティーダンスパーティー in 吉舎」が新型コロナウイルスの影響もあり、3年ぶりに開催され、多くのダンス愛好者が参加されました。主催された吉舎社交ダンスサークルはアットホームな雰囲気の中、社交ダンスを楽しまれています。今回のダンスパーティーでは日頃の練習の成果を発揮されて、見事なフォーメーションダンスを披露されました。またチャリティーとして市社協へ募金を寄付していただきました。ありがとうございました。

まごころ

たくさんのご寄付ありがとうございました。

お預かりしましたご寄付は、各地区社協の活動費、市社協の地域福祉事業へ大切に活用させていただきます。

(介護保険事業には充当しておりません)

令和4年9月21日
～令和4年11月20日受付分

- ①本会への寄付金については所得税法による寄付金控除が受けられます。
- ②寄付者ご本人の承諾のもと氏名等を掲載しています。

本所

●香典返し

石原町	池田	文枝
作木町伊賀和志	(宗)蓮光寺	
大田幸町	森保	文三
島敷町	玉野	耕莊
大田幸町	西田	絹子
広島市安佐南区大塚西		
佐々木	伸	
山家町	牧原	晃
青河町	田中	博範
三次町	岩崎カズコ	
山家町	黒田	弘二
東酒屋町	黒瀬	静明
十日市中	津田	博
十日市中	中島	清祐
十日市西	亀本	豊
海渡町	福永	信成

上川立町

折田 英子

十日市南

梶山多美栄

三次町

三上 隆之

東酒屋町

小林 克則

十日市中

杉岡 秀則

東酒屋町

福政 耕治

十日市南

稲倉 孝士

上志和地町

ホルムマイケル

栗屋町

上川 英美

上田町

児玉三千子

●見舞い返し

光下 建治

●一般寄付

十日市六区すみれ会

島敷町

平林 隼汰

下志和地町

樫山 英雄

十日市西

北川 剛之

君田支所

●香典返し

藤兼	竹下	玲子
東入君	漆谷	辰則
石原	増田	智子
●見舞い返し		
櫃田	若林	絹代

布野支所

●香典返し

上布野	宗貞きなえ
下布野	平佐みゆき

●見舞い返し

上布野	今田 隆士
上布野	殿畑 和博
上布野	弓掛 弘
上布野	梶原 道行
下布野	山口 和代

●一般寄付

横谷 垣内 宏之

作木支所

●香典返し

伊賀和志	(宗)蓮光寺
光守	篠原 忠幸
下作木	田村 裕子

●一般寄付

作木町母子寡婦福祉会

吉舎支所

●香典返し

敷地	沼丸	亮二
徳市	梶原	芳樹
広島市	池口	政彦
辻	小林紀美恵	
敷地	山本由美子	
清綱	宇根 一夫	
尾道市栗原西	横山 由佳	
吉舎	濱口 明	
吉舎川之内	河野 和充	

●見舞い返し

丸田 松井 寿夫

●一般寄付

広島市安佐南区長東西

辻 佐野 常好
元吉 吉樹

三良坂支所

●香典返し

吉舎町安田	平岡 成美
三良坂	佐々木政弘
長田	福場ツヤ子
三良坂	高木 良子
長田	松岡佐加美

三和支所

●香典返し

上巻	政廣 文順
上巻	末近 昭文

甲奴支所

●香典返し

敷名	小川 邦彦
羽出庭	坂田 和助
羽出庭	片岡ちづ子
廿日市市塩屋	中増 妙子
羽出庭	森川百々代
下板木	栗矢 博文
上巻	福馬 隆
世羅郡世羅町上津田	岡田 忠文
上板木	佐々木恭治

●香典返し

小童 沖田 幸子
埼玉県さいたま市 寄國 正人

三次市社協が行う福祉サービスへの
苦情やご意見はございませんか?

三次市社協 **苦情解決をご利用ください**

【苦情の受付】

面接、電話、書面などにより苦情解決受付担当者が随時受け付けます。第三者委員に直接申し出ることでもできます。

【第三者委員】

長谷川真義 〒728-0211 布野町横谷 57 ☎0824-54-2188
細美 好宏 〒729-6702 三和町敷名 1903-2 ☎0824-52-3322
岡本 一彦 〒728-0021 三次町 1762-5 ☎0824-62-4573

☎三次市社協への寄付金の使途

社会福祉法人三次市社協への寄付金は、7割が寄付者の地区社協の活動資金、残り3割が三次市社協の実施する地域福祉事業に充当されます。また、個人は所得税法の寄付金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます。(確定申告時に当会発行の領収書が必要)

三次市共同募金委員会より

「共同募金配分金申請」 受付のお知らせ



三次市内で地域の福祉をすすめている団体や暮らしやすい町づくりをすすめているボランティア団体・福祉団体の活動に対し、共同募金から助成を行います。

- 配分額：募金実績や配分事業数等により決定します。
- 決定方法：三次市共同募金委員会を経て、広島県共同募金会において審査・決定されます。（審査の結果、申請額よりも配分額が減額される場合があります）
- 申請締切：令和5年2月8日(水)
- お問合せ：三次市共同募金委員会
(三次市社会福祉協議会内)

令和4年度社協会費のお礼とご報告

皆様にご協力いただきました令和4年度社協会費の実績は11月21日現在下記のとおりです。

種別	件数(戸数)	金額
一般会費(寄附含む)	942件	4,916,370円
賛助会費	51件	232,000円
特別会費	25件	125,000円

社協会費は、地域の福祉活動(サロンやボランティア活動など)に活用されます。

ご協力ありがとうございます。



ありがとう
ございました

「Facebookページ」で三次市社協の取組みを発信しています

三次市社会福祉協議会では、みなさんが暮らす地域で行われている“福祉”の活動や“社会福祉協議会”の取組みをもっとわかりやすく、たくさんの人に伝えていけるように、“SNS”を活用した情報発信を行っています。

ぜひ一度ご覧になってください。

くわしくは、

三次市社会福祉協議会



あのまちこのひと

みいつけた!



〈今月のあのまち このひと〉

きんさいカフェグラウンドゴルフ同好会(十日市)

最近、親水公園がちょっと賑やか。十日市の女性たちがグループを作ってグラウンドゴルフを楽しんでいます。

きっかけは十日市きんさいセンターの茶話会で、今年の4月に「おもしろそう、やってみよう」という話がでてから、2日後には即実行。

当初は6名の集まりが、1人、また1人と増え、いまでは13名。メンバーのほとんどが初心者ということで、みんなが馴染みやすいのか、プレー中も休憩中も、誰かが笑っていて、和気あいあいとした雰囲気です。

「ホールのところまで何回も打ち返すのは“野菜炒め”っていうんよ」と教えてもらいましたが、みなさんはすでに炒め知らず。ホールインワンも出ていました!

お問い合わせ 三次市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 0824-63-3340 FAX 0824-62-6827
または、お近くの市社協各支所まで

お知らせ情報コーナー

12・1・2月の予定

ふれあい福祉相談

～安心は相談から 秘密厳守 相談無料～
場所 三次市福祉保健センター 2階相談室

種別	相談日	時間	相談員
心配ごと相談 介護相談 権利擁護相談	月曜日～金曜日 (祝日は除く)	8:30～17:30	社会福祉協議会 専門職員
電話相談	☎0824-63-3340		
法律相談	1月28日(土)	13:00～15:00	弁護士
	※事前に予約が必要です。申込締切 1月20日(金) 予約先 ☎0824-63-3340 FAX 0824-62-6827 ※相談のお申込みは定員になり次第締め切らせていただきます。 時間はお一人30分程度とさせていただきます。		
手紙(FAX)相談	宛先 〒728-0013 三次市十日市東三丁目14番1号 「三次市社会福祉協議会相談室」 FAX 0824-62-6827		
電子メール相談	E-mail: fureai-soudan3@ca.wakwak.com (専用アドレス)		

ボランティア活動保険・行事用保険

	ボランティア活動保険	ボランティア行事用保険
内容	ボランティア活動中における、さまざまな不測の事故によるケガや賠償責任を補償します。	
保険料	基本プラン 1人 350円 天災・地震補償プラン 1人 500円 特定感染症重点プラン 1人 550円	1名 1日あたり 28円 最低保険料 560円
補償期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで *中途加入の場合は、加入手続き完了日の翌日から 令和5年3月31日まで	行事開催期間 *詳細はお問合わせください。

*ご加入はお近くの市社協本所および各支所へお申し込みください
*ボランティア活動保険の加入には三次市ボランティアセンターへの登録が必要となります
*行事用保険について、現金で払込みをする場合は1月17日より料金が加算されることになりました(110円/件)

各種定例会 ◆場所 いずれも三次市福祉保健センター

- 要約筆記サークル「うかい」定例会
【開催日時】毎月第1金曜日20:00～
(オンライン開催)
毎月第3土曜日9:00～12:00
- 三次朗読奉仕者友の会定例会
【開催日時】毎月第3土曜日13:30～16:30
- 点訳サークル「ほおずき」定例会
【開催日時】毎月第2・4火曜日18:30～20:00
- 手話サークル「ゆい」定例会
【開催日時】毎月第2・4土曜日10:00～11:30
※会場が変更になる場合があります。
参加を希望の方は事前にご連絡ください。
(三次市社会福祉協議会 電話 63-3340 FAX 62-6827)
- 三次手話サークル「竹」定例会
【開催日時】毎月第1・3・5木曜日18:30～20:00

貸出・派遣

- 録音テープの貸出
市広報や市議会だより、市社協だよりなどの録音テープを、視覚障がい者の方へ貸し出しています。
- 手話・要約筆記の派遣
聴覚、音声、言語機能等に障がいがある方へ、手話通訳者、要約筆記奉仕員を派遣しています。
お問合わせは三次市社会福祉協議会地域福祉課へ
電話 0824-63-3340 FAX 0824-62-6827

編集後記

12月に入り、1年を振り返る時節になりました。Withコロナが続く中、今年も社会経済活動と感染抑制の両立を試み過ごした1年でした。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、来年はもっと地域の皆さんと交流できることを願っています。体調管理を万全に、よいお年をお迎えください。